

2020年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード： AA0183

| | |
|----------------|---|
| テーマ タイトル | 近代都市としての東京・横浜——源流と末流 |
| 担当者 | 辻 英史／竹本研史 |
| 実施時期 | 2021年2-3月（現地訪問3回） |
| 実施場所 | 東京都内・横浜市周辺 |
| 協力機関 | とくになし |
| 募集人員 | 15人 |
| 学習目的 | 明治以降、近代都市としての歩みを始めた東京・横浜は、先行して発展したヨーロッパの諸都市から多くのことを学びつつ、関東大震災や戦災をくぐり抜けて拡大・成長を続けた。このFSでは、ヨーロッパの近代都市の建築や都市計画について学んだ上で、東京都内や横浜市に残るその影響や痕跡を調査する。 |
| 行程 | 事前授業では、ヨーロッパの大都市と対比させつつ東京や横浜（周辺を含む）の明治以降の都市としての発展や都市計画の歴史を紹介する。参加者はそれに関係する歴史的な場所の中から、各自で設定したテーマにもとづいて訪問先候補の場所を複数選定し、あらかじめ文献などで調査したうえで、授業実施期間外の時期にそれらの場所を3回に分けて日帰り訪問する（内部見学できない場合は外観のみ）。事前学習後に調査レポートとともに3回分の訪問計画を提出すること。 訪問先の例： ①東京・丸の内・銀座の近代建築群と都市計画遺構（震災・戦災復興など） ②横浜および八王子にいたるその後背地 ③東京都内の公共公園と都市公園 ④記念碑（銅像、モニュメント） |
| 費用 | 自宅から現地までの交通費（往復）、内部見学をする場合は入館料など。参加者によって異なる。 |
| 選考基準 | 学部ホームページから志望調査票をダウンロードし、学習支援システムで本FSを仮登録したあと、記入の上 <u>9月28日（月）</u> までに「課題」として提出すること。選考にあたってはすでに持っている知識や、志望動機を重視する。志望調査票の志望理由欄に、近代都市について各自のもっている関心や問題意識について書くこと。選考結果は <u>10月5日（月）</u> に学習支援システム上で発表するとともに、応募者にお知らせします。 |
| 事前・事後 学習の予定 | ともにZoom使用（+オンデマンド配信）でおこなう。事前授業は10月から1月に毎月1～2回ずつ（計6回程度）おこない、その終了後に訪問計画とともにレポートを提出する。事後学習は3月下旬におこない（少なくとも1回）、訪問先について結果を報告してもらおう。そのあと、最終レポートを作成・提出する。 |
| 注意事項 | (1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。 |

| | |
|----------------|------------------------------------|
| 中止の場合の 代替措置 | 指定する参考文献を読み、資料調査をおこなった上でレポートを提出。 |
| 評価方法 | 事前レポート、訪問計画、訪問報告、最終レポートから総合的に評価する。 |